



独立監査人の監査報告書

平成 30 年 5 月 28 日

公益財団法人千葉県私学教育振興財団
理事長 福中 儀明 殿

シティア公認会計士共同事務所

公認会計士

根岸 功生



あおば公認会計士共同事務所

公認会計士

竹岡 均



<財務諸表監査>

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人千葉県私学教育振興財団の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの平成 29 年事業年度の貸借対照表及び損益計算書(公益認定等ガイドライン 1-5(1)の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。)並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表(以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。)について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私たちの責任は、私たちが実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私たちに財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私たちの判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の

有効性について意見表明するものではないが、私たちは、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私たちは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人千葉県私学教育振興財団の平成 30 年 3 月 31 日現在の平成 29 年事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私たちの責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私たちは、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人千葉県私学教育振興財団と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上



監 査 報 告 書


公益財団法人
千葉県私学教育振興財団
理事長 福中 儀明 様

私たちは、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について監査を実施した。会計帳簿その他重要な書類を閲覧し、慎重に検討し監査した結果次のとおり報告する。


1. 財産の状況は、平成30年3月31日現在の財産目録に適正に表示されていると認める。
2. 貸借対照表、正味財産増減計算書の内容は、公益法人会計基準並びに定款、会計処理規程に従い、当財団の平成30年3月31日現在の財政状態の状況を適正に表示していると認める。
3. 理事の業務執行に関し、不正な行為または法令もしくは定款に違反する事実は認められない。
4. 会計監査人の監査の方法及び結果は、相当であると認める。

平成30年5月29日

監 事

井 元 詔一 

監 事

齋 枝 谷 真一 

監 事

森 島 庸 吉 